

日本文学専攻

日本文学を中心に、豊かな教養と高度な研究能力を修得

古代から現代までの各時代の文学・言語・芸能に関する科目を中心に学びます。また、文芸批評・中国文学・沖縄文学・国語教育などの関連科目を幅広く配置しています。

2011年度より「文芸創作研究プログラム」を創設。実際に創作を行い、その作品を修士論文の代替として提出できます。プログラムでは、文芸作品が社会で評価されるまでの仕組みを「社会と表現」「編集理論」などの講座で学習。また、「文芸創作研究」「作家特殊研究」などの講座では文芸創作そのものについて学んでいきます。このほか、能楽研究所と連携した「能楽研究者育成プログラム」では、能楽に関する最高水準の大学院教育で展開しています。また、国際日本学インスティテュートとの合同科目を多く開設し、外国人留学生と学ぶ場が多いのも本専攻の特徴です。本専攻では、研究者や教員、学芸員、文芸創作に関わる専門家、専門能力をさまざまな分野で生かせる社会人の育成を幅広く行っています。

研究室紹介

中沢 けい 教授

文学表現を支える社会的事象について研究します

年度により研究テーマを選んでいきます。



2018年度は「フェイクニュース」をテーマといたしました。IT技術の登場はグーテンベルク以来の大改革と言われました。従来の活字からデジタル技術によるネット配信への変化は、言論形成や文学表現の分野にも大きな変化をもたらしています。この変化を日常的な報道から拾い上げ検討を加えて行きます。2019年度のテーマは「フェイクニュースと言論形成」を考えていますが、受講生の希望で修正変更もあります。

学生・修士生の声

杉本 裕樹 修士課程 在学中

研究を進める中で、柔軟な思考力が養われました。近年のテレビ番組などへの関心も深まります

学んだこと・身についたこと

研究を進め、日本文学への知識を深めたことで、現代のテレビドラマやラジオ番組の構成やストーリー展開にも関心を持つようになりました。文豪が近年のドラマを執筆したらどうなるかといったアプローチ方法を考えるなど、柔軟な手法を考えられるようになりましたね。

大学院の魅力

法政大学大学院は学費やアクセスなど入学への様々な敷居が低く、先生方も親身になって指導して下さいます。研究資料が豊富に揃っており、学びやすい環境です。能楽作品研究や文芸創作研究、日本近代文芸演習Ⅰといった講義も多く、研究の幅が多角的に広がりました。



研究テーマ

戦間期日本におけるモダニズム文学としての探偵小説

作家特殊研究紹介



「作家特殊研究」は文芸創作研究プログラムの基幹科目で、毎年、現代文学の最前線で活躍する気鋭の文芸創作家を招聘し、受講生が本人を前にしてその作家の作品について研究するという、きわめてユニークな科目です。

どの作品について研究するか、どんなことを作家に語ってもらうかは、学生たちと作家が対話することによって、毎年違うかたちで展開されていきます。そこでは作家についての理解を深めるだけではなく、文学研究全般についての新しい視点を手に入れる学生もいれば、自らの文芸創作への貴重なヒントをもらう学生もいます。

また、そうして学んだ研究の成果は、秋学期に冊子としてまとめます。毎年、目次にはオーソドックスな作品研究・作家研究のみならず、図像や表を駆使した文学研究から文芸創作にいたるまで、多様な記事が並びます。こうして受講生が授業を通して学んだことを言語化した冊子は、その作家についての最新の研究成果であると同時に、手に入れた文学的な知についての実践的な報告になります。

さまざまな興味・関心をもつ学生たちと作家の出会いによって、つねに清新な現代文学の息吹が感じられる授業です。

専任教員	専攻	研究テーマ	主な担当科目
阿部 真弓 教授	中世文学	日記文学、物語、和歌	日本中世文芸原典研究 A・B
伊海 孝充 教授	中世文学(特に能楽)	古典演劇の能研究(能の作品研究・謡本研究)	日本中世文芸演習 A・B
尾谷 昌則 教授	言語学	認知言語学から見た意味拡張、文法化、構文ネットワーク	日本語学演習 A・B
加藤 昌嘉 教授	古代文学(後期)	平安時代の物語(『源氏物語』など)	日本古代文芸演習 A・B
小秋元 段 教授	中世文学	軍記物語、史論、説話、お伽草子、近世初期出版文化	日本文芸特殊研究Ⅱ A・B
小林 ふみ子 教授	近世文芸	大田南畝、江戸狂歌を中心とする近世中期文学・文化研究	日本近世文芸原典研究 A・B、 日本文芸特殊研究Ⅲ A・B
坂本 勝 教授	古代文学(前期)	『古事記』『万葉集』を中心とする上代文学研究	日本文芸特殊研究Ⅰ A・B、 日本古代文芸原典研究 A・B
スティーヴン・ネルソン 教授	日本音楽史学	雅楽・仏教音楽・平家語り、古典文学作品と音楽	日本文芸特講Ⅰ A・B(文芸と音楽) 日本文芸特殊研究Ⅳ A・B
田中 和生 教授	近・現代文学、文芸批評	日本の近代文学の特質を明らかにすること、そこから現代文学の条件を考えること	日本文芸批評史 A・B
中沢 けい 教授	文芸創作	小説、評論、随筆の執筆	日本文芸特講Ⅱ A・B(アートマネジメント研究)
中丸 宣明 教授	近・現代文学	明治・大正の作家・作品研究	日本近代文芸原典研究 A・B
藤村 耕治 教授	近・現代文学	昭和以降の文学、特に戦後文学およびその継承者による現代文学の作家・作品研究	日本近代文芸演習Ⅰ A・B
間宮 厚司 教授	日本古典語学	『万葉集』や『おもしろさうし』などの語学的研究	日本語学原典研究 A・B
宮本 圭造 教授	芸能史	能の歴史研究、中世芸能史	能楽資料研究 A・B
山中 玲子 教授	能楽研究	能の作品研究・演出研究、能の所作研究	能楽作品研究 A・B、 現代能楽論
遠藤 星希 専任講師	中国古典文学	主に唐詩、唐代傳奇および幕末期を中心とした日本漢詩の研究	中国文学 A・B

[2019年度] ※年度により授業を持たない場合があります。

設置科目【修士課程】

日本文芸学 A・B(各2)
 日本文芸批評史 A・B(各2)
 日本古代文芸原典研究 A・B(各2)
 日本古代文芸演習 A・B(各2)
 日本古代文芸特講 A・B(各2)
 日本中世文芸原典研究 A・B(各2)
 日本中世文芸演習 A・B(各2)
 日本近世文芸原典研究 A・B(各2)
 日本近代文芸演習Ⅰ A・B/Ⅱ A・B(各2)
 日本語学原典研究 A・B(各2)
 日本語学演習 A・B(各2)
 日本語学特講 A・B(各2)
 沖縄文芸史 A・B(各2)
 中国文学 A・B(各2)
 日本文芸特講Ⅰ A・B(文芸と音楽)(各2)
 日本文芸特講Ⅱ A・B
 (アートマネジメント研究)(各2)
 国語と文芸教育法 A・B(各2)
 女性文学 A・B(各2)
 文芸と視覚芸術 A・B(各2)
 学際的文学論(文学の境界領域、文学と宗教等) A・B(各2)
 文学と風土 A・B(各2)
 能楽作品研究 A・B(各2)
 能楽資料研究 A・B(各2)
 現代能楽論(2)
 日本語・日本文学の基礎 A・B(各2)
 歴史と文学論 A・B(各2)
 表現と社会(2)
 編集理論(2)
 作家特殊研究 A・B(各2)
 文芸創作研究 A・B(各2)
 日本文芸特殊研究Ⅰ A・B/Ⅱ A・B/Ⅲ A・B/Ⅳ A・B(各2)
 日本文学・国際日本学基礎演習(2)
 日本文学・国際日本学論文作成基礎実習(2)

設置科目【博士後期課程】

日本文学特殊演習 A・B(各2)
 日本文芸学特殊研究 A・B(各2)
 日本文芸批評史特殊研究 A・B(各2)
 日本古代文芸特殊研究 A・B(各2)
 日本中世文芸特殊研究 A・B(各2)
 日本近世文芸特殊研究 A・B(各2)
 日本近代文芸特殊研究 A・B(各2)
 日本語学特殊研究 A・B(各2)

[2019年度] ※開講科目は年度により異なります。() = 単位数

修士の研究テーマ

- ・ 現「伊勢物語」本文形成過程
- ・ 古活字本「保元物語」本文考
- ・ 「方丈記」の文末表現研究
- ・ 世阿弥作夢幻能における脇役の工夫
- ・ 濫澤龍彦後期小説論
- ・ 視覚表現(漫画)と文章表現(小説)の違い
- ・ カタカナ表記語の語用論的特徴